2022年3月期 第3四半期決算短信（米国基準）（連結）

2022年1月31日

上場会社名　株式会社ワコールホールディングス　　上場取引所　東
コード番号　3591　URL https://www.wacoalholdings.jp/
代表者　（役職名）代表取締役 社長執行役員　（氏名）安原　弘展
問合せ先責任者　（役職名）執行役員 経営企画部長　（氏名）廣岡　勝也　TEL 075-682-1010
四半期報告書提出予定日　2022年2月10日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　有　（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満四捨五入）

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	130,187	13.3	5,057	27.8	5,537	△49.1	3,493	△29.7
2021年3月期第3四半期	114,901	△20.2	3,956	△59.6	10,873	△30.6	4,972	△54.9

（注）四半期包括利益　2022年3月期第3四半期　6,198百万円　（57.2%）　2021年3月期第3四半期　3,943百万円　（△61.4%）

	1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益	希薄化後1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	55.96	55.72
2021年3月期第3四半期	79.67	79.34

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計（純資産）	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	298,959	221,802	218,741	73.2	3,517.98
2021年3月期	322,761	218,616	215,612	66.8	3,454.18

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	―	20.00	―	20.00	40.00
2022年3月期	―	20.00	―		
2022年3月期（予想）				30.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 2022年 3月期の連結業績予想（2021年 4月 1日～2022年 3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当社株主に帰属する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	184,000	20.9	6,000	―	7,900	△26.8	5,500	△21.7	88.11

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） ： 無

新規 ― 社 （社名） 、 除外 ― 社 （社名）

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 ： 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 ： 無

② ①以外の会計方針の変更 ： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	65,589,042 株	2021年3月期	65,589,042 株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	3,410,985 株	2021年3月期	3,168,353 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	62,424,097 株	2021年3月期3Q	62,403,898 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.6「1．当四半期決算に関する定性的情報 （3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

〇添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２
（１）連結経営成績に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．２
（２）連結財政状態に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．６
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．６

２．四半期連結財務諸表及び主な注記・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．７
（１）四半期連結貸借対照表・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．７
（２）四半期連結損益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．９
（３）四半期連結包括利益計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．９
（４）四半期連結キャッシュ・フロー計算書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１０
（５）四半期連結財務諸表に関する注記事項・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１１
（継続企業の前提に関する注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１１
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１１
（セグメント情報等）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・Ｐ．１１
（６）販売の状況・・Ｐ．１３

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する説明

①当第３四半期の業績

（単位：百万円）

		2021 年３月期 第３四半期 連結累計期間	2022 年３月期 第３四半期 連結累計期間	前年同期比	
				増減額	増減率
売上高		**114,901**	**130,187**	**＋15,286**	**＋13.3%**
	売上原価	50,279	56,585	＋6,306	＋12.5%
	売上利益	64,622	73,602	＋8,980	＋13.9%
	販売費及び一般管理費	60,666	68,545	＋7,879	＋13.0%
営業利益		**3,956**	**5,057**	**＋1,101**	**＋27.8%**
	その他の収益・費用　※Ａ以外	1,192	2,055	＋863	＋72.4%
	Ａ:有価証券・投資評価損益（純額）	5,725	△1,575	△7,300	－
税引前四半期純利益		**10,873**	**5,537**	**△5,336**	**△49.1%**
当社株主に帰属する四半期純利益		**4,972**	**3,493**	**△1,479**	**△29.7%**

参考情報:Ａを考慮しない税引前四半期純利益	5,148	7,112	＋1,964	＋38.2%

当第３四半期連結累計期間（2021年４月１日～12月31日）における当社グループの経営環境は、米国や欧州は新型コロナウイルス感染症（以下、感染症）に対する規制の緩和によって商況が大きく改善しましたが、国内については緊急事態宣言などの活動規制が９月末まで長期化した影響もあり、厳しい状況となりました。このような状況のもと、当社グループは、お客さま・従業員・お取引先の健康と安全を最優先に事業活動を行いつつ、高収益な経営体質の構築に向けた構造改革に取り組んでいます。また、感染症の拡大をきっかけに大きく変化した消費者の生活様式に対応する商品・サービスの開発・提供を継続的に行うとともに、「オンラインとオフラインの融合」、「顧客データの活用」など顧客体験価値の向上に向けた独自のCX戦略を推進することで、お客さま一人ひとりとの「深く、広く、長い」関係を構築する取り組みを進めています。

当第３四半期連結累計期間の連結売上高は1,301.9億円（前年同期比13.3%増）、営業利益は50.6億円（前年同期比27.8%増）となりました。税引前四半期純利益は、有価証券・投資評価損益（純額）について評価損15.8億円（前年同期は57.3億円の評価益）を計上したことから、55.4億円（前年同期比49.1%減）となりました（当社は米国会計基準を採用しており、当社及び連結子会社が保有する持分証券につきましては、公正価値で評価し、期初からの変動を「有価証券・投資評価損益（純額）」として「その他の収益・費用」で計上しています）。以上の結果、当社株主に帰属する四半期純利益は34.9億円（前年同期比29.7%減）となりました。

当該期間の為替換算レートは、１米ドル＝111.10円（前年同期106.11円）、１英ポンド＝152.76円（同136.24円）、１中国元＝16.78円（同15.37円）です。

②オペレーティング・セグメントの営業概況

（単位：百万円）

	2021年３月期		2022年３月期		前年同期比	
	第３四半期累計期間	構成比	第３四半期累計期間	構成比	増減額	増減率
売上高合計	114,901	100.0%	130,187	100.0%	＋15,286	＋13.3%
ワコール事業（国内）	66,935	58.3%	67,340	51.7%	＋405	＋0.6%
ワコール事業（海外）	29,475	25.6%	44,454	34.2%	＋14,979	＋50.8%
ピーチ・ジョン事業	9,038	7.9%	9,365	7.2%	＋327	＋3.6%
その他	9,453	8.2%	9,028	6.9%	△425	△4.5%

（単位：百万円）

	2021年３月期		2022年３月期		前年同期比	
	第３四半期累計期間	売上比	第３四半期累計期間	売上比	増減額	増減率
営業利益（△損失）	3,956	3.4%	5,057	3.9%	＋1,101	＋27.8%
ワコール事業（国内）	3,008	4.5%	2,268	3.4%	△740	△24.6%
ワコール事業（海外）	△22	－	2,002	4.5%	＋2,024	－
ピーチ・ジョン事業	1,553	17.2%	1,552	16.6%	△1	△0.1%
その他	△583	－	△765	－	△182	－

（参考）主要子会社の売上高・営業利益（△損失）

（単位：百万円）

売上高	2021年３月期		2022年３月期		前年同期比	
	第３四半期累計期間	構成比	第３四半期累計期間	構成比	増減額	増減率
ワコール	62,546	54.4%	61,766	47.4%	△780	△1.2%
ワコールインターナショナル(米国)	12,790	11.1%	19,331	14.8%	＋6,541	＋51.1%
ワコールヨーロッパ	7,027	6.1%	11,937	9.2%	＋4,910	＋69.9%
中国ワコール	6,502	5.7%	8,845	6.8%	＋2,343	＋36.0%
ピーチ・ジョン	9,038	7.9%	9,365	7.2%	＋327	＋3.6%
ルシアン	3,430	3.0%	2,470	1.9%	△960	△28.0%
七彩	3,949	3.4%	4,157	3.2%	＋208	＋5.3%

※外部売上高のみを記載しています。

（単位：百万円）

営業利益（△損失）	2021年３月期		2022年３月期		前年同期比	
	第３四半期累計期間	売上比	第３四半期累計期間	売上比	増減額	増減率
ワコール	581	0.9%	996	1.6%	＋415	＋71.4%
ワコールインターナショナル(米国)	△1,051	－	480	2.5%	＋1,531	－
ワコールヨーロッパ	212	3.0%	1,349	11.3%	＋1,137	＋536.3%
中国ワコール	483	7.4%	150	1.7%	△333	△68.9%
ピーチ・ジョン	1,553	17.2%	1,552	16.6%	△1	△0.1%
ルシアン	149	4.3%	△350	－	△499	－
七彩	△299	－	△215	－	＋84	－

※主要子会社の売上高・営業利益（△損失）は各国会計基準に基づく数値

ａ．ワコール事業（国内）

当該セグメントの売上高は673.4億円（前年同期比0.6%増）、営業利益は22.7億円（前年同期比24.6%減）となりました。営業利益については、前年同期の雇用調整助成金の受け取りによる利益貢献の裏返しなどから、減益となっています。

【ワコール】

ワコール事業（国内）の中核事業会社であるワコールの売上高は、前年同期に比べ1.2%の減収となりました。なお、当期よりワコールが新収益認識基準を適用しており、従来、売上利益から純額で控除していた返品見積額を売上高から総額で控除しているため、前年同期に対してワコール事業（国内）セグメントは増収、ワコールは減収となりました（セグメントは既に同基準を適用済み）。

第１四半期連結会計期間は営業環境の改善により33.3%の増収となりましたが、第２四半期連結会計期間は７月以降の感染者数の増加に伴う外出自粛の影響もあり、16.7%の減収となりました。当第３四半期連結会計期間においては、緊急事態宣言の解除以降の主要チャネルの店頭ベースの売上の回復が緩やかなものに留まったことに加え、得意先の仕入抑制なども影響し、4.8%の減収となりました。

巣ごもり需要の寄与もあり、前期に大きく伸長した自社ECは、新規顧客の獲得に苦戦したものの、既存顧客への販売が堅調に推移し、前年同期の水準を上回りました。また、他社ECについても前年同期の水準を上回っています。

営業利益は、収益構造改革の一環として、経費削減に継続して取り組んだ結果、前年同期に比べ71.4%の増益となりました。なお、雇用調整助成金につきましては、営業外収入として計上されているため、上記の営業利益の金額や前年同期差には含まれていません（連結経営成績上は米国会計基準に基づき営業損益に組み替え表示しています）。

ｂ．ワコール事業（海外）

邦貨換算後の当該セグメントの売上高は 444.5 億円（前年同期比 50.8%増）、営業利益は 20.0 億円（前年同期は 0.2 億円の営業損失）となりました。

なお、前期において「ワコール事業（海外）」セグメント内で計上していた「ピーチ・ジョン」ブランドの中国国内の売上高については、「ピーチ・ジョン事業」セグメントでの計上に変更し、前年同期実績についても遡及修正しています。また、中国ワコールにおける百貨店等の売上について、当期より店頭価格ベースに変更していますが、遡及修正していません。なお、当該変更により、売上高、販売費及び一般管理費がそれぞれ同額増加するため、営業利益に影響はありません。

【ワコールインターナショナル（米国）】

ワコールインターナショナル（米国）の現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ 44.3%の増収（邦貨換算ベース 51.1%増）となりました。

「Wacoal」や「b.tempt’d」などのブランドを展開する米国ワコールは、10 月以降、売れ筋商品の欠品に伴う納品機会のロスが生じたものの、個人消費の力強い回復を背景に EC や百貨店の店頭売上が好調に推移したことから、当第３四半期連結累計期間の売上高は 47.7%の増収となり、感染症拡大前の水準を上回りました。「LIVELY」ブランドを展開する Intimates Online, Inc.は、SNS 広告のコスト高騰などの影響により、自社 EC の売上が伸び悩みましたが、卸や直営店舗の売上拡大が寄与し、26.8%の増収となりました。

現地通貨ベースの営業利益は、増収効果から 4.3 百万ドル（邦貨換算ベース 4.8 億円）となりました（前年同期は営業損失 9.9 百万ドル（邦貨換算ベース 10.5 億円））。なお、当第３四半期連結会計期間の営業損益は、自社 EC の成長に向けた戦略的な投資に加え、運送費の高騰や、販売チャネル別の売上構成比の変化などから、営業損失となっています。

【ワコールヨーロッパ】

ワコールヨーロッパの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ51.5%の増収（邦貨換算ベース69.9%増）となりました。

個人消費の力強い回復を背景に、当第３四半期連結会計期間の売上高についても、米国、英国、欧州の各主要エリアで感染症拡大前の水準を上回りました。主力の専門店が感染症拡大前の水準を上回って好調に推移した他、英国での新規得意先との取引開始などにより、一部百貨店の閉店影響を緩和しました。なお、英国で展開する自社ECについても35.0%の増収となり好調を維持しました。

現地通貨ベースの営業利益は、増収効果により、466.5%の増益（邦貨換算ベース536.3%増）となりました。

【中国ワコール】

中国ワコールの現地通貨ベースの売上高は、前年同期に比べ24.6%の増収（邦貨換算ベース36.0%増）となりました。

百貨店などの実店舗は、感染症拡大に対する規制強化の影響によって当第３四半期連結会計期間は苦戦しましたが、前年の感染症拡大に伴う店舗休業の裏返しにより、上期の営業環境が改善したことなどが寄与し、増収となりました。中国国内ブランドの台頭により競争環境が激化するECについては、ライブコマースなど新たな販促活動に取り組んだものの、効果が限定的なものに留まった結果、前年同期を下回りました。

現地通貨ベースの営業利益は、増収効果はあったものの、前年同期の政府の支援策がなくなったことに加え、事業活動の再開に伴う諸経費の増加により、71.5%の減益（邦貨換算ベース68.9%減）となりました。

ｃ．ピーチ・ジョン事業

当該セグメントの売上高は、93.7億円（前年同期比3.6%増）となりました。

直営店は、第１四半期連結会計期間の売上回復に加え、10月に発売を開始した有名タレントとのコラボアイテムが来店客数の増加に寄与し、17.8%の増収となりました。自社ECは、同じくコラボアイテムの貢献があったものの、巣ごもり需要によって大きく伸長した前年同期の水準には至らず、11.1%の減収となりました。

営業利益は、15.5億円（前年同期比0.1%減）となりました。前年同期の家賃減免などの裏返しがありましたが、増収効果により、高い利益水準を確保しました。

ｄ．その他

当該セグメントの売上高は、90.3 億円（前年同期比 4.5%減）、営業損益は 7.7 億円の営業損失（前年同期は 5.8 億円の営業損失）となりました。

【ルシアン】

ルシアンの売上高は、量販店や大手衣料品チェーン向けのプライベートブランド商品の売上が低調に推移したことに加え、ベトナム工場の休業により納品遅延が生じた結果、前年同期に比べ 28.0%の減収となりました。営業損益は、経費削減に努めたものの、減収の影響が大きく 3.5 億円の営業損失（前年同期は 1.5 億円の営業利益）となりました。

【七彩】

七彩の売上高は、新規市場の展開強化や大型改装工事の受注により、前年同期に比べ 5.3%の増収となりましたが、感染症拡大に伴う新規出店や各種イベントの中止・延期などにより苦戦しました。営業損益は、オペレーションの見直しによる経費削減を進めたものの、売上の低迷が響き、2.2 億円の営業損失（前年同期は 3.0 億円の営業損失）となりました。

（２）連結財政状態に関する説明

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第３四半期連結会計期間末における総資産は、借入金の返済による現金及び現金同等物の減少などにより、前連結会計年度末に比して 238 億２百万円減少し、2,989 億 59 百万円となりました。

負債も、同様に短期借入金を返済したことなどにより、前連結会計年度末に比して 269 億 88 百万円減少し、771 億 57 百万円となりました。

株主資本は、利益剰余金の増加や為替換算調整勘定の変動などにより、前連結会計年度末に比して 31 億 29 百万円増加し、2,187 億 41 百万円となりました。

以上の結果により、当第３四半期連結会計期間末における株主資本比率は、前連結会計年度末に比して 6.4 ポイント増加し、73.2%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第３四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して 209 億 88 百万円減少し、425 億 69 百万円となりました。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期純利益 35 億７百万円に減価償却費や繰延税金などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、121 億 13 百万円の収入（前年同期に比し 93 億 79 百万円の収入増）となりました。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動によるキャッシュ・フローは、有形及び無形固定資産の取得などにより、43 億 82 百万円の支出（前年同期に比し 16 億 64 百万円の支出増）となりました。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動によるキャッシュ・フローは、短期借入金の返済、配当金支払や条件付取得対価の支払などにより、293 億 75 百万円の支出（前年同期は 347 億 54 百万円の収入）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、現時点では 2021 年５月 14 日に公表した連結業績予想に変更はありません。しかしながら、感染症による先行き不透明な状況が今なお続いています。感染症拡大の状況によって、業績予想の見直しが必要と判断した場合は、速やかに新たな見通しを開示します。

２．四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

科　　目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	増減金額
（資産の部）	百万円	百万円	百万円
Ⅰ．流動資産			
現金及び現金同等物	63,557	42,569	△ 20,988
定期預金	1,443	2,425	982
有価証券	253	―	△ 253
売掛債権	17,571	18,590	1,019
貸倒引当金	△ 346	△ 302	44
棚卸資産	43,250	44,573	1,323
返品資産	600	716	116
その他の流動資産	7,794	3,716	△ 4,078
流動資産合計	134,122	112,287	△ 21,835
Ⅱ．有形固定資産			
土地	20,569	20,360	△ 209
建物及び構築物	72,978	73,653	675
機械装置及び工具器具備品等	19,356	20,151	795
建設仮勘定	1,264	3,732	2,468
	114,167	117,896	3,729
減価償却累計額	△ 64,409	△ 66,251	△ 1,842
有形固定資産合計	49,758	51,645	1,887
Ⅲ．その他の資産			
オペレーティングリース使用権資産	12,729	11,207	△ 1,522
関連会社投資	21,207	21,782	575
投資	51,603	47,845	△ 3,758
のれん	21,169	21,813	644
その他の無形固定資産	15,220	15,081	△ 139
前払年金費用	9,533	10,081	548
繰延税金資産	1,649	1,799	150
その他	5,771	5,419	△ 352
その他の資産合計	138,881	135,027	△ 3,854
資産合計	322,761	298,959	△ 23,802

科　　目	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2021年12月31日)	増減金額
（負債の部）	百万円	百万円	百万円
Ⅰ．流動負債			
短期借入金	40,672	15,685	△ 24,987
買掛債務			
支払手形	712	769	57
買掛金	8,734	8,083	△ 651
未払金	6,610	4,701	△ 1,909
	16,056	13,553	△ 2,503
未払給料及び賞与	6,822	4,926	△ 1,896
未払税金	1,025	1,150	125
返金負債	2,266	2,498	232
短期オペレーティング リース負債	4,411	3,990	△ 421
条件付取得対価に係る負債 （短期）	―	920	920
その他の流動負債	4,819	7,642	2,823
流動負債合計	76,071	50,364	△ 25,707
Ⅱ．固定負債			
長期債務	1,498	1,545	47
退職給付に係る負債	1,942	1,956	14
繰延税金負債	12,292	12,819	527
長期オペレーティング リース負債	8,520	7,530	△ 990
条件付取得対価に係る負債 （長期）	1,639	765	△ 874
その他の固定負債	2,183	2,178	△ 5
固定負債合計	28,074	26,793	△ 1,281
負債合計	104,145	77,157	△ 26,988
（資本の部）			
Ⅰ．資本金	13,260	13,260	―
Ⅱ．資本剰余金	29,120	29,064	△ 56
Ⅲ．利益剰余金	181,346	182,341	995
Ⅳ．その他の包括損益累計額			
為替換算調整勘定	1,770	4,416	2,646
年金債務調整勘定	△ 1,008	△ 976	32
Ⅴ．自己株式	△ 8,876	△ 9,364	△ 488
株主資本合計	215,612	218,741	3,129
Ⅵ．非支配持分	3,004	3,061	57
資本合計	218,616	221,802	3,186
負債及び資本合計	322,761	298,959	△ 23,802

(2) 四半期連結損益計算書

科　　目	前第３四半期連結累計期間 （自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日）		当第３四半期連結累計期間 （自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日）		増減金額
	百万円	%	百万円	%	百万円
Ⅰ．売上高	114,901	100.0	130,187	100.0	15,286
Ⅱ．営業費用					
売上原価	50,279	43.8	56,585	43.5	6,306
販売費及び一般管理費	60,666	52.8	68,545	52.6	7,879
営業費用合計	110,945	96.6	125,130	96.1	14,185
営業利益	3,956	3.4	5,057	3.9	1,101
Ⅲ．その他の収益・費用(△)					
受取利息	52		45		△ 7
支払利息	△ 56		△ 48		8
受取配当金	1,078		1,034		△ 44
有価証券・投資評価損益(純額)	5,725		△ 1,575		△ 7,300
その他の損益(純額)	118		1,024		906
その他の収益・費用合計	6,917	6.1	480	0.4	△ 6,437
税引前四半期純利益	10,873	9.5	5,537	4.3	△ 5,336
法人税等	6,506	5.7	2,517	2.0	△ 3,989
持分法による投資損益調整前四半期純利益	4,367	3.8	3,020	2.3	△ 1,347
持分法による投資損益	449	0.4	487	0.4	38
四半期純利益	4,816	4.2	3,507	2.7	△ 1,309
非支配持分帰属損益	156	0.1	△ 14	△ 0.0	△ 170
当社株主に帰属する四半期純利益	4,972	4.3	3,493	2.7	△ 1,479

(3) 四半期連結包括利益計算書

科　　目	前第３四半期連結累計期間 （自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日）	増減金額
	百万円	百万円	百万円
Ⅰ．四半期純利益	4,816	3,507	△ 1,309
Ⅱ．その他の包括損益 －税効果調整後			
為替換算調整勘定	△ 1,343	2,659	4,002
年金債務調整勘定	470	32	△ 438
その他の包括損益 合計	△ 873	2,691	3,564
四半期包括損益	3,943	6,198	2,255
非支配持分帰属四半期包括損益	352	△ 27	△ 379
当社株主に帰属する四半期包括損益	4,295	6,171	1,876

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科　　目	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日)
	百万円	百万円
Ⅰ. 営業活動によるキャッシュ・フロー		
1. 四半期純利益	4,816	3,507
2. 営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
(1)減価償却費	4,558	4,547
(2)貸倒引当金(純額)	△ 12	△ 76
(3)繰延税金	1,211	361
(4)固定資産除売却損益(純額)	△ 361	△ 111
(5)有形固定資産減損損失	625	24
(6)有価証券・投資評価損益(純額)	△ 5,725	1,575
(7)持分法による投資損益(受取配当金控除後)	96	△ 118
(8)資産及び負債の増減		
売掛債権の減少(△増加)	647	△ 828
棚卸資産の減少(△増加)	1,115	△ 511
返品資産の減少(△増加)	76	△ 116
その他の流動資産等の減少(△増加)	△ 2,444	4,389
買掛債務の減少	△ 2,700	△ 1,216
返金負債の増加	267	232
退職給付に係る負債の増加(△減少)	276	△ 499
その他の負債等の増加	299	593
(9)その他	△ 10	360
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,734	12,113
Ⅱ. 投資活動によるキャッシュ・フロー		
1. 定期預金の増加額	△ 857	△ 1,328
2. 定期預金の減少額	291	371
3. 持分証券の売却及び償還収入	940	2,220
4. 持分証券の取得	△ 6	△ 3
5. 負債証券の償還収入	424	222
6. 有形固定資産の売却収入	646	484
7. 有形固定資産の取得	△ 1,699	△ 4,528
8. 無形固定資産の取得	△ 2,169	△ 2,185
9. 貸付による支出	△ 315	―
10. 貸付の回収による収入	―	321
11. その他	27	44
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,718	△ 4,382
Ⅲ. 財務活動によるキャッシュ・フロー		
1. 短期借入金の純増減額	17,747	△ 5,000
2. 短期借入金(3ヶ月超)の調達	20,424	―
3. 短期借入金(3ヶ月超)の返済	―	△ 20,000
4. 長期債務の調達	1,447	―
5. 長期債務の返済	△ 35	△ 35
6. 自己株式の取得	△ 1	△ 589
7. 当社株主への配当金支払額	△ 2,496	△ 2,498
8. 非支配持分への配当金支払額	△ 81	△ 82
9. 非支配持分からの払込みによる収入	―	112
10. 非支配持分からの子会社持分取得による支出	△ 1,190	―
11. 条件付取得対価の支払	△ 1,061	△ 1,283
財務活動によるキャッシュ・フロー	34,754	△ 29,375
Ⅳ. 為替変動による現金及び現金同等物への影響額	△ 250	656
Ⅴ. 現金及び現金同等物の増減額	34,520	△ 20,988
Ⅵ. 現金及び現金同等物の期首残高	27,905	63,557
Ⅶ. 現金及び現金同等物の四半期末残高	62,425	42,569

補足情報

現金支払額		
利息	46	48
法人税等	8,417	△ 2,634
現金支出を伴わない投資活動		
固定資産の取得価額	1,088	378

(5) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

① オペレーティング・セグメント情報

前第３四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）　（単位：百万円）

	ﾜｺｰﾙ事業（国内）	ﾜｺｰﾙ事業（海外）	ﾋﾟｰﾁ･ｼﾞｮﾝ事業	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	66,935	29,475	9,038	9,453	114,901	―	114,901
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	590	6,990	166	2,886	10,632	△ 10,632	―
計	67,525	36,465	9,204	12,339	125,533	△ 10,632	114,901
営業利益（△損失）	3,008	△ 22	1,553	△ 583	3,956	―	3,956

当第３四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）　（単位：百万円）

	ﾜｺｰﾙ事業（国内）	ﾜｺｰﾙ事業（海外）	ﾋﾟｰﾁ･ｼﾞｮﾝ事業	その他	計	消去又は全社	連結
売上高							
(1)外部顧客に対する売上高	67,340	44,454	9,365	9,028	130,187	―	130,187
(2)セグメント間の内部売上高又は振替高	622	5,993	279	2,713	9,607	△ 9,607	―
計	67,962	50,447	9,644	11,741	139,794	△ 9,607	130,187
営業利益（△損失）	2,268	2,002	1,552	△ 765	5,057	―	5,057

（注）１．各事業の主な製品

ワコール事業（国内）　･･･ ｲﾝﾅｰｳｪｱ（ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ・ﾗﾝｼﾞｪﾘｰ・ﾅｲﾄｳｪｱ・ﾘﾄﾙｲﾝﾅｰ）、ｱｳﾀｰｳｪｱ、ｽﾎﾟｰﾂｳｪｱ、ﾚｯｸﾞﾆｯﾄ他

ワコール事業（海外）　･･･ ｲﾝﾅｰｳｪｱ（ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ・ﾗﾝｼﾞｪﾘｰ・ﾅｲﾄｳｪｱ・ﾘﾄﾙｲﾝﾅｰ）、ｱｳﾀｰｳｪｱ、ｽﾎﾟｰﾂｳｪｱ、その他繊維関連商品他

ピーチ・ジョン事業　･･･ ｲﾝﾅｰｳｪｱ（ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ・ﾗﾝｼﾞｪﾘｰ・ﾅｲﾄｳｪｱ）、ｱｳﾀｰｳｪｱ、その他繊維関連商品他

その他　･･･ ｲﾝﾅｰｳｪｱ（ﾌｧﾝﾃﾞｰｼｮﾝ・ﾗﾝｼﾞｪﾘｰ・ﾅｲﾄｳｪｱ・ﾘﾄﾙｲﾝﾅｰ）、ｱｳﾀｰｳｪｱ、ｽﾎﾟｰﾂｳｪｱ、その他繊維関連商品、ﾏﾈｷﾝ人形、店舗設計・施工他

２．報告セグメントの変更等に関する事項

従来「ピーチ・ジョン」ブランドの中国国内の売上高の一部を「ワコール事業（海外）」セグメントに含めておりましたが、前連結会計年度より「ピーチ・ジョン事業」セグメントへ含めて開示しております。

なお、前第３四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成したものを開示しております。

② 地域別情報

前第３四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）　（単位：百万円）

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	84,380	11,412	19,109	114,901
構成比	73.5%	9.9%	16.6%	100.0%
営業利益(△損失)	4,076	515	△ 635	3,956

当第３四半期連結累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）　（単位：百万円）

	日本	アジア オセアニア	欧米	連結
外部顧客に対する売上高	84,579	15,339	30,269	130,187
構成比	65.0%	11.8%	23.2%	100.0%
営業利益(△損失)	3,331	△ 10	1,736	5,057

（注）１．国又は地域の区分の方法は地理的近接度によっております。

２．本邦以外の区分に属する主な国又は地域

アジア･オセアニア：アジア諸国及びオーストラリア

欧　米：北米及びヨーロッパ諸国

３．売上高は連結会社を所在地別に分類したものであります。

(6) 販売の状況

製品の種類		前第３四半期連結累計期間 自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日		当第３四半期連結累計期間 自 2021年 4月 1日 至 2021年12月31日		増　減	
		金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
		百万円	%	百万円	%	百万円	%
インナーウェア	ファンデーション・ランジェリー	92,499	80.5	106,120	81.5	13,621	14.7
	ナイトウェア	5,155	4.5	5,210	4.0	55	1.1
	リトルインナー	574	0.5	602	0.5	28	4.9
	計	98,228	85.5	111,932	86.0	13,704	14.0
アウターウェア・スポーツウェア等		6,694	5.8	7,938	6.1	1,244	18.6
レッグニット		774	0.7	785	0.6	11	1.4
その他繊維製品及び関連製品		4,104	3.6	4,060	3.1	△ 44	△ 1.1
その他		5,101	4.4	5,472	4.2	371	7.3
合　計		114,901	100.0	130,187	100.0	15,286	13.3